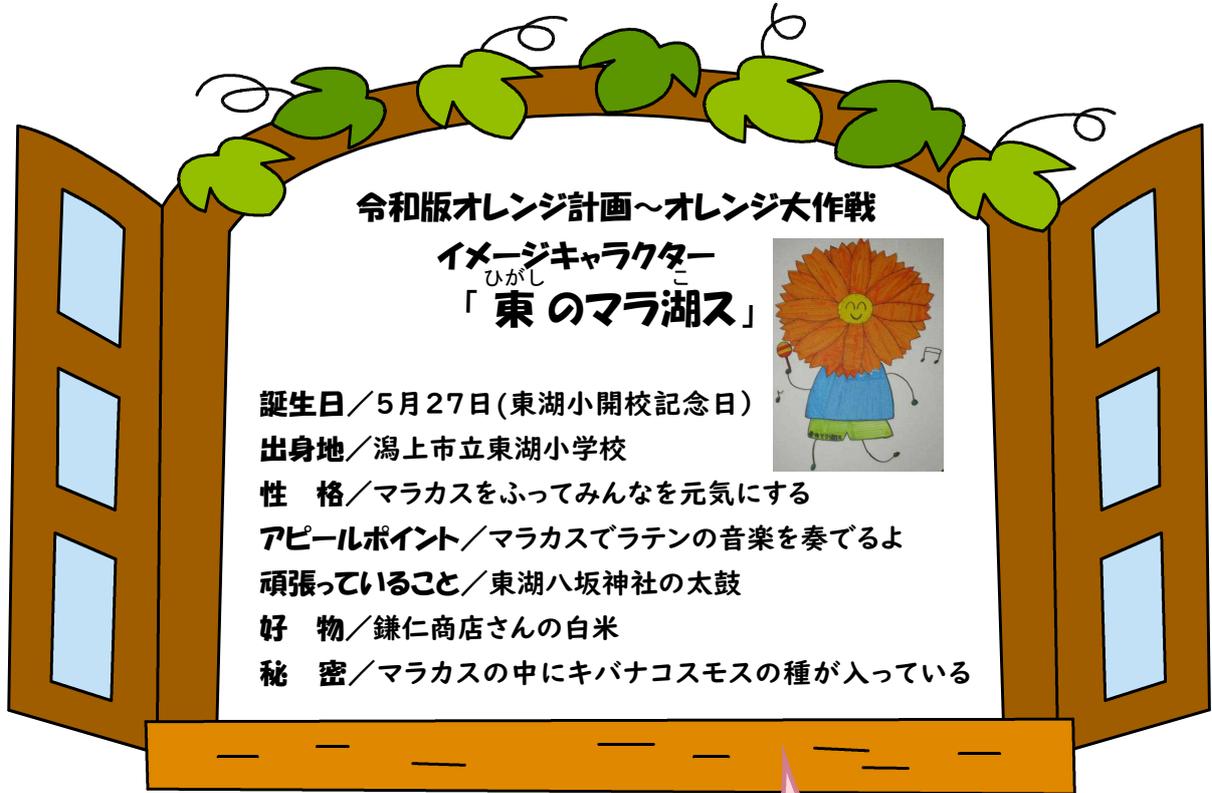


令和版オレンジ計画～オレンジ大作戦イメージキャラクター

「^{ひがし}東の^こマラ湖ス」を紹介します！！



春、あたたかくなったら、ぜひ、家のまわりや職場などに種をまいてください。きっと、オレンジ色の花が、あなたを元気づけてくれますよ。

東湖小学校のキバナコスモス

平成10年にスタートした「オレンジ計画」。「オレンジ色のキバナコスモスで学校を明るくしよう」と、神奈川県の上溝(かみみぞ)小学校から分けてもらった種をまいたのが始まりです。一粒の種が時代を超え、令和の今につながっています。「令和版オレンジ計画」では、「学校や私たちのまちを、オレンジ色の花で元気にしたい」という願いを引き継いでいます。



キバナコスモスの育て方

【種まき】

- 気温が20～25℃くらいになる4～7月が目安です。東湖小学校では、6月中旬に、全校で種をまいています。
- あらかじめ穴をあけて数粒の種をまく「点まき」、板などで作ったすじにまく「すじまき」、花だんの全体にまく「ばらまき」の3つの方法があります。
- 種をまいたら、1cmほど土をかぶせて水を静かに与えてください。

【間引き】

- 発芽してすぐのころと双葉が出たころに、間引き(まびき)として育ちの悪い芽を抜きます。花だんでは、最終的に20～30cmほどの間隔で1本の芽を育ててください。ポットの苗も1本を残し、本葉が3～4枚になったら植えつけます。

【水やり】

- 花だんに植えたキバナコスモスには、ほとんど水やりの必要がありませんが、猛暑で日照りが続くときや極端に乾燥したときなどは、土の状態を見ながら早朝に水をあげてください。真夏の間は、早朝と夕方に水をけるとよいでしょう。
- 花を長く楽しむためには、花がらをこまめに摘み取ることが大切です。花数が減ってきたら、半分くらいの高さに切り戻すと再び咲き出します。

